

平成25年12月26日(木)

峻 嶺

学校便り NO 5

大町市立第一中学校

新人戦の活躍

2学期後半は部活動の新人戦が、毎週のように行われました。3年生を中心に戦った夏の大会の活躍を、新人戦でも引き継いで2年生、1年生が活躍しました。結果は以下の通りです。

- 男子ソフトテニス部
団体戦 郡大会 優勝 中信大会 優勝 県大会へ
- 野球部
郡大会 2位 中信大会 初戦惜敗
- 卓球部 男子
団体戦 郡大会 2位 中信大会 1次リーグ惜敗
- 男子バスケットボール部
郡大会 優勝 中信大会 初戦惜敗
- 女子バスケットボール部
郡大会 優勝 中信大会 初戦惜敗
- 男子バレーボール部
郡大会 優勝 中信大会 3位 県大会へ
- 女子バレーボール部
郡大会 優勝 中信大会 初戦惜敗
- 陸上部
県中駅伝大会男子 10位 北信越大会へ
- 女子体操部
団体戦 県大会 優勝



新人戦も団体種目全てで郡大会を勝ち抜き、中信大会へ進むことができました。さらに県大会へ出場を決めた部が2つ。また陸上部の駅伝で北信越大会への出場は大変な快挙です。

ここにはあげきれませんが、個人戦での活躍も光っています。陸上部や水泳部は個人競技がほとんどで、上位大会へつながる大会がなかったため割愛させていただきました。中には県大会優勝した男子ソフトテニスや社会体育の空手で全国大会優勝・アジア大会優勝などといった成績を残した生徒もいます。2学期は学校での賞状伝達式も2回に分けて行うほどでした。



1月には吹奏楽部のアンサンブルコンテスト、男子バレーボール部の県大会が控えています。さらなる活躍を期待しています。

人権教育旬間と生徒会

10月28日～11月8日は後期人権教育旬間でした。各学年のテーマに沿って人権について考えを深めました。全校では人権教育講演会で、盲導犬アーニーと共においでくださった古田綾夫さんのお話をお聞きしました。

1学期に行われた前期人権教育旬間で書いた人権作文を法務局のコンクールに応募したところ個人入選の他に、全校での取り組みということで、学校に感謝状をいただきました。

また、11月13日、生徒会では一中の「いじめ0宣言」を読み上げ、この宣言が生まれた経緯や、昨年度の「いじめ0集会」の様子等を紹介し、その精神を受け継いで自分たちも一中の「いじめ0宣言」をしようと呼びかけました。大変価値のある集会でした。

生徒会では12月の生徒集会で校内で起きた器物破損について、「陰に隠れて物を壊すような行為を許さないようにしましょう」と呼びかけました。その後、校内の小さな変化に気づいて先生に連絡してくれる生徒が増え、故意と思われる器物破損がなくなりました。

これらに共通するのは「自分たちの問題として考えよう」という意識です。人権問題もいじめも器物破損も、根っこには人や物に対する「無関心」が問題の温床となります。1人1人の生徒が関心を持つようになれば学校が変わります。社会が変わります。そんなことを学んだ2学期でした。



委員会活動

委員会活動ではそれぞれの委員会が最も活躍した学期でした。全ての委員会活動は紹介できませんが、ここでは図書委員会と福祉実行委員会を紹介します。



図書委員会では秋の読書旬間に、大町市の読み聞かせグループの皆さんに読み聞かせをしていただきました。2年ぶりに行った読み聞かせでしたが、読み聞かせボランティアの方から「小学生とは反応が違いおもしろかった。」「今度はあんな作品を読みたい。」といった感想をいただきました。また、利用数の統計調査やお勧め本の紹介など、当番活動も充実していました。

福祉実行委員会は、外へ出たの活動がいくつかありました。地区の男女共同参画事業や地域子育てセミナー等にスタッフとして参加し、地域の方々と交流したり、小さい子ども達の世話をしたりしました。地域の方々から感謝の声が寄せられました。

生徒会が2年生に引き継がれ、三役が選挙で決まり、昨日、委員長、副委員長のスタッフが紹介されました。3学期以降、さらに充実した活動を期待しています。

